

【見直し方針】

令和4年4月25日決定の「リニア活用戦略の改訂方針」に基づき、現活用戦略を加筆修正

I 戦略策定の背景と目的

リニア岐阜県駅周辺地域の位置づけ

- 1 はじめに
(リニア活用戦略の改訂の経緯を整理)
- 2 リニア中央新幹線を活用した戦略的な地域づくり
「地域づくりへの活用と戦略」
「リニア活用戦略」
「リニア中央新幹線開業を見据えた岐阜県の取組み」



[リニア中央新幹線建設促進期成同盟会HPより県作成]

II 戦略の視点

- 新** 1 **新たな社会情勢の変化への対応**
「新次元の地方分散」 「SDG s 推進」 「盛土、残土などの環境対策」
- 2 広域的に効果を波及
「県内アクセス整備」 「名古屋市ターミナル駅及び岐阜羽島駅の活用」 「近隣県からの利用」
- 3 大都市機能を分担
新 「スーパー・メガリージョン構想」 「首都機能の分担」
- 4 岐阜県独自の魅力を発揮
「地域独自の魅力の重要性」 「岐阜県独自の魅力」 **新** 「森のまちづくり」

III 戦略の基本的方向性

現戦略の地域づくりの方向性「観光振興・まちづくり戦略」「産業振興戦略」「基盤整備戦略」の三本柱を維持しつつ、**新たな戦略の視点を踏まえた展望へブラッシュアップ**

1 観光振興・まちづくり戦略

- リニア岐阜県駅50km圏域の集中的な観光振興
- リニア岐阜県駅から東西南北への観光軸の形成
- リニア岐阜県駅周辺から県全体、**隣接県**への観光振興
- 広域観光による海外誘客の**推進**
- リニア中央新幹線、**総合**車両基地の観光資源としての活用
- 観光から移住・定住人口の拡大
- 移住定住の推進**
- 人口流出の抑制
- 新** ○**人材育成の強化**

2 産業振興戦略

- 企業誘致の促進**
- BCP**観点からの都市代替機能の誘致
- 総合**車両基地の活用
- 建設段階経済効果の**享受**
- 新** ○**クリエイティブ人材の呼び込み**
- 新** ○**持続可能な地域づくりの推進**

3 基盤整備戦略

- 新** ○**岐阜県らしい駅及び駅周辺の整備**
- 駅からの道路ネットワークの整備**
- 駅からの鉄道ネットワークの整備**
- 駅からのバスネットワークの整備**

IV 重点的に展開する施策

戦略の基本的方向性の実現に向けて、既存施策の見直しを行うとともに「4つの新たな施策」を加え、18の重点的に展開する施策を設定

新 4つの新たな施策

東美濃地域での「住みたい岐阜県」の実現に向けて、同地域の豊かな自然環境や伝統文化等を十分に活かしながら、クリエイティブな人材を呼び込み、イノベーションが生まれやすい地域づくり（「森のまちづくり」）を推進

職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり

- ・ユニークで自由、優秀な人材が育つ教育
- ・地元教育環境の充実
- ・まちづくりを担う人材育成、確保
- ・女性や若者の定着を図るための魅力的な職場の充実
- ・「田園回帰」による移住定住



東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり

- ・先端科学の研究機関等の誘致
- ・スタートアップの輩出・集積
- ・産学官連携による支援



森のまちづくり

リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求

- ・交通のハブ化、シームレスな二次交通の強化
- ・個性的な空間の整備
- ・新しい交通システムへの対応（MaaS、自動運転、シェアサイクル等）



防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり

- ・リニア建設工事の盛土（残土）安全対策
- ・カーボンニュートラル実現のための経済グリーン化
- ・良い循環による農業、観光等総合的発展
- ・開発と規制のバランス



既存施策の見直し

現行の戦略における重点的に展開する施策を踏襲しつつ、施策の進捗状況や新たな社会情勢の変化等を踏まえ、再設定

観光振興・まちづくり戦略（6施策）

- 観光による地域経済循環
- 東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ
- 東美濃地域からの広域周遊観光の創出
- リニア中央新幹線を活用した産業観光ルートの開発、商品造成
- 移住定住人口の更なる拡大
- リニアを活かす関係人口の拡大



産業振興戦略（5施策）

- サテライトオフィスの県内移転・誘致に向けた環境整備
- 都市機能の一部代替を担うインフラの整備促進
- 地域に根差した産業の集積クラスターの集積、構築の推進
- 車両基地の地域経済へ効果波及
- 建設段階の経済効果波及



基盤整備戦略（3施策）

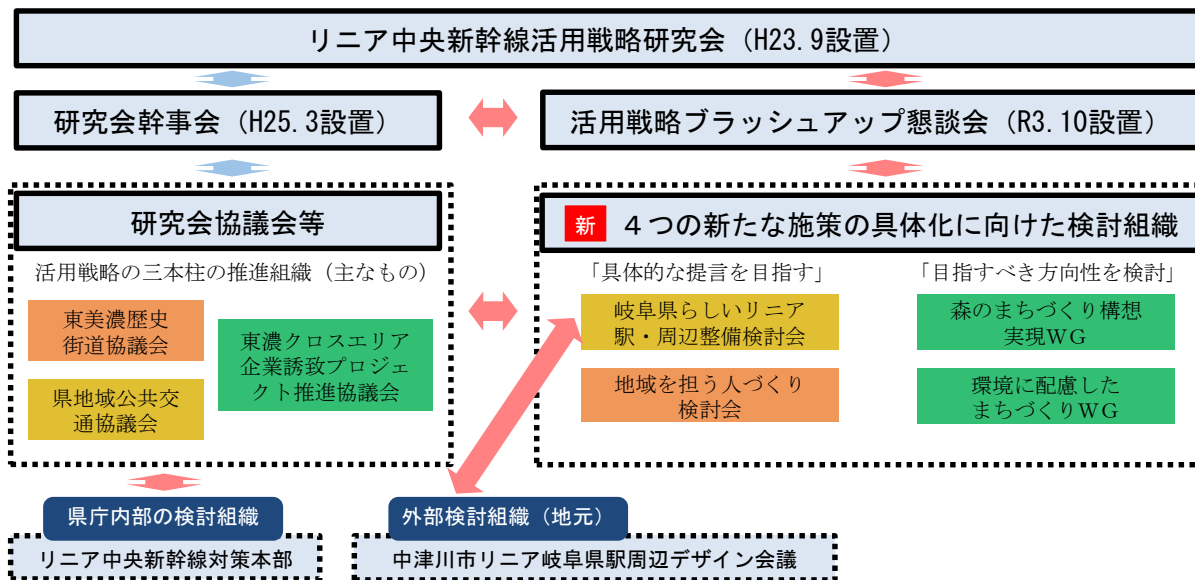
- リニア開業を契機とする交通インフラの強化
- リニア岐阜県駅の利用需要の確保
- 持続可能な二次交通の整備



V 今後の進め方

1 推進体制

リニア活用戦略研究会、活用戦略ブラッシュアップ懇談会を中心に、「オール岐阜体制」で取組みを推進



新 2 財源の確保

- ・ 県や市町村は、国費や民間資金などの活用を十分検討

新 3 アクションプランの策定・進捗管理

- ・ 重点的に展開する施策の具体化に向けて、今後の対応・事業方針を「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略アクションプラン」としてとりまとめ
- ・ 毎年度進捗状況を把握、活用戦略ブラッシュアップ懇談会へ報告後、活用戦略研究会にて効果検証、必要に応じてスクラップ&ビルド
- ・ 目標時期の可視化及び施策の進捗管理を図るため、以下のロードマップを整理

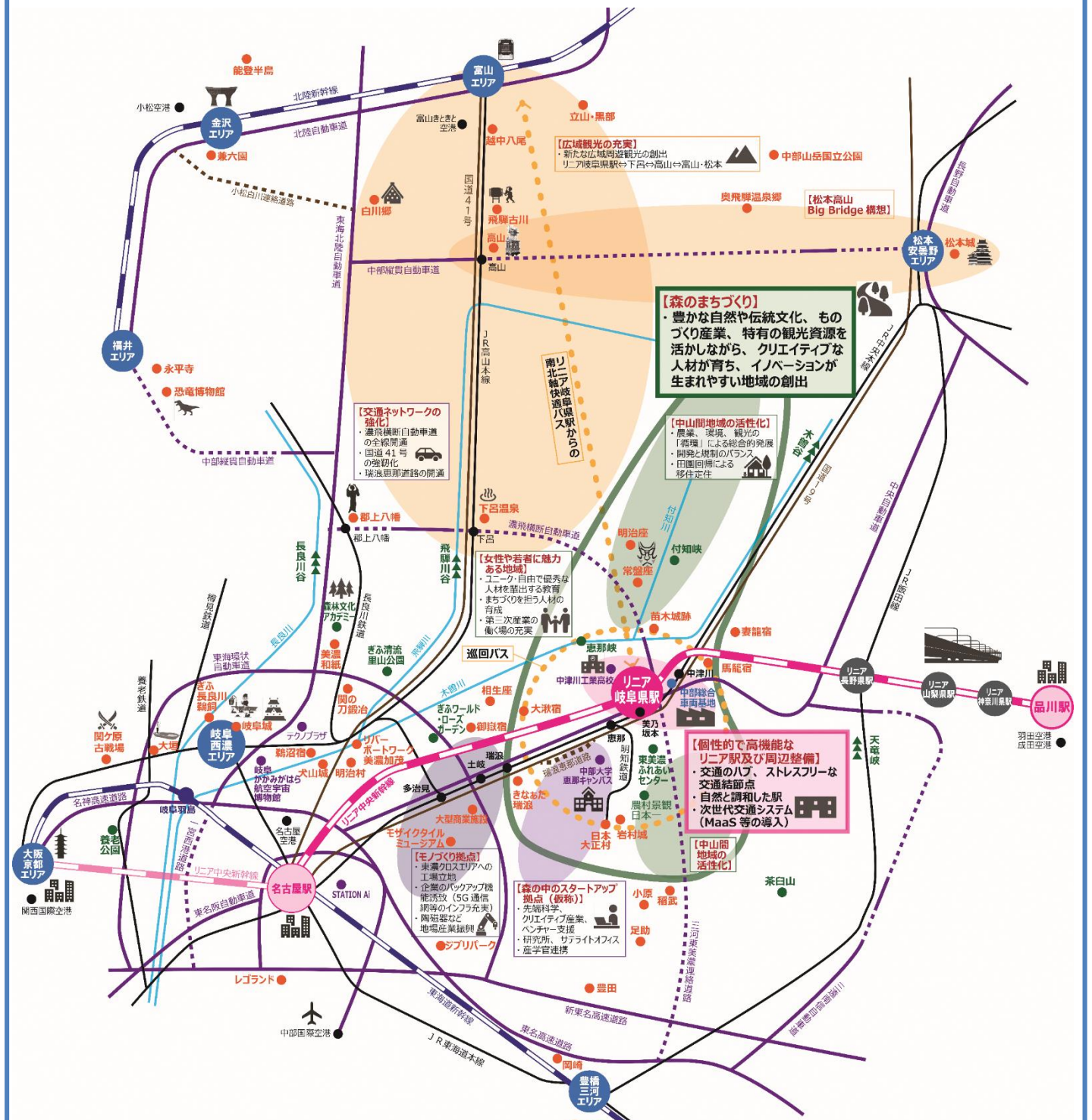
今後の対応方針	事業方針	実施主体	ロードマップ	
			<名古屋開業>	<全線開業>
リニア総合車両基地をはじめとした産業人材供給に向けた地元教育の充実	地元教育環境整備事業 東美濃地域を支える人材育成拠点の整備	県市町村 地元経済団体等	地域を担う人づくり検討会 事業計画	(仮称) 東のモノづくり拠点整備事業 (仮称) 東のモノづくり拠点の運営
「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」の具体化	東美濃地域におけるスタートアップ拠点整備事業 スタートアップの呼び込み、育成に向けた事業	県市町村 地元経済団体	森のまちづくり構想実現WG 課題・対策の整理	スタートアップ企業等集積に向けた支援 (仮称) 森の中のスタートアップ拠点の具体化
地域の乱開発防止に向けた規制等に関する検討	地域の乱開発防止に向けた規制等推進事業 地域ビジョンの共有及び必要に合わせた規制等に関する検討	県市町村 まちづくり協議会	環境に配慮したまちづくりWG 課題・対策の整理	対策に向けた規制等の取組み 環境に配慮したまちづくりの要する推進
JR東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討(リニア岐阜県駅及び駅周辺整備)	リニア岐阜県駅及び駅周辺整備事業 岐阜県らしいリニア駅・周辺整備の検討 リニア岐阜県駅周辺整備事業	県市町村 JR東海等 JR東海(駅舎) 中津川市(駅周辺整備)	岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会 設計	岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会 設計・工事 工事

4 随時見直し

- ・ 社会情勢の変化等を踏まえ、活用戦略の適宜見直し

リニア中央新幹線を活用した地域づくり

リニア開業効果をリニア岐阜県駅から東美濃地域、県内全域、そして隣接県へ波及させることを目指す



【広域観光の充実】
 ・新たな広域観光ルートの創出
 リニア岐阜県駅⇄下谷⇄高山⇄富山⇄松本

【森のまちづくり】
 ・豊かな自然や伝統文化、ものづくり産業、特有の観光資源を活かしながら、クリエイティブな人材が育ち、イノベーションが生まれやすい地域の創出

【交通ネットワークの強化】
 ・濃飛横断自動車道の全線開通
 ・国道41号の強靱化
 ・珠波恵那道路の開通

【中山間地域の活性化】
 ・農業、環境、観光の「循環」による総合的発展
 ・開発と規制のバランス
 ・田舎回帰による移住定住

【女性や若者に魅力ある地域】
 ・ユニーク・自由で優秀な人材を輩出する教育
 ・まちづくりを担う人材の育成
 ・第三次産業の働き場の充実

【個性的で高機能なリニア駅及び周辺整備】
 ・交通のハブ、ストレスフリーな交通結節点
 ・自然と調和した駅次世代交通システム (MaaS等の導入)

【モノづくり拠点】
 ・企業クラスターへの工場立地
 ・企業のバックアップ機能誘致 (5G通信網等のインフラ充実)
 ・陶磁器など地場産業振興

【森の中のスタートアップ拠点 (仮称)】
 ・先端科学、クリエイティブ産業、ベンチャー支援
 ・研究所、サテライトオフィス、産学官連携

	リニア中央新幹線
	新幹線
	JR在来線・私鉄線
	高速道路・高規格道路
	主な一般国道
	主な河川
	主な観光地
	主な自然地・公園
	主な駅・空港